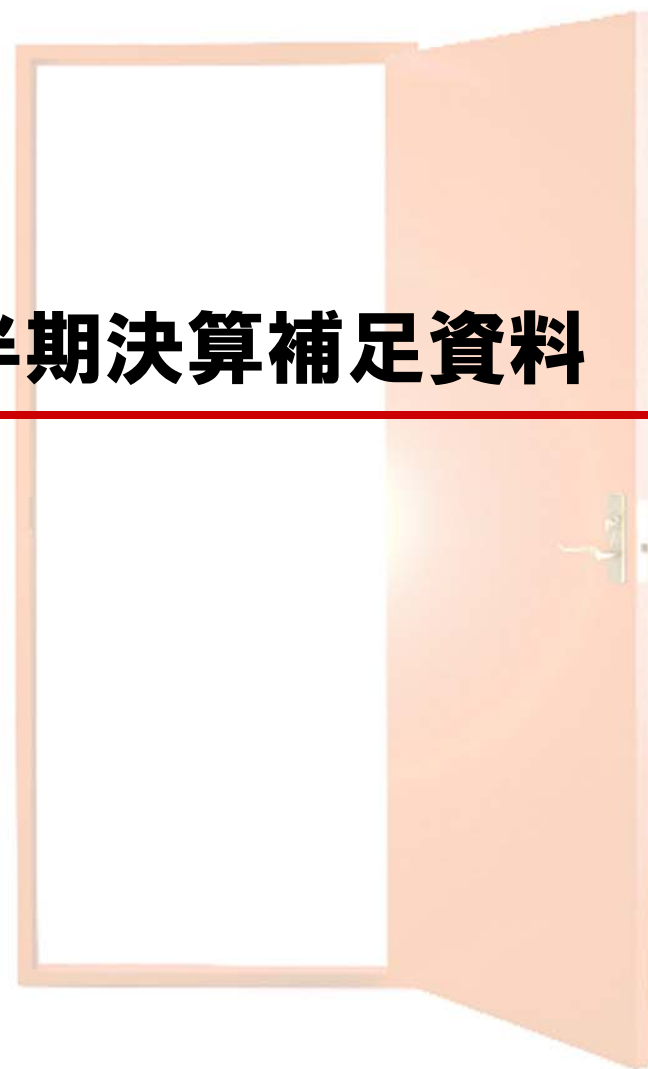


平成29年8月期(53期) 第2四半期決算補足資料

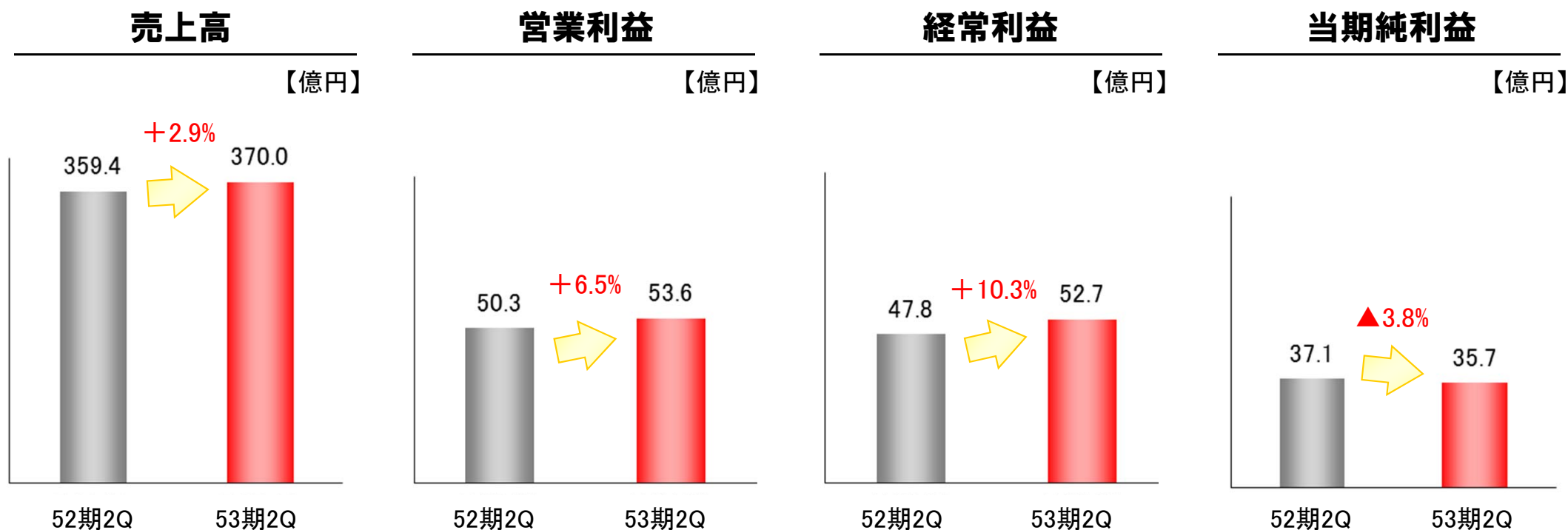
平成29年3月31日



1. 業績関連	...	P2
2. 財務／経営指標関連	...	P7
3. 事業関連	...	P12
4. 第2四半期TOPICS	...	P15
5. 免責事項	...	P21

|| 業績関連 || 53期第2四半期経営成績(累計/前期対比)

- ・ 売上高は、各事業が概ね堅調に推移し前年同期比で増収。
- ・ 営業利益は各事業で人員拡充・将来施策を含む費用投下するものの償却終了により増益。経常利益は借入金圧縮に伴う金利負担が減少し増益。当期純利益は法人税等が増加したため減益。

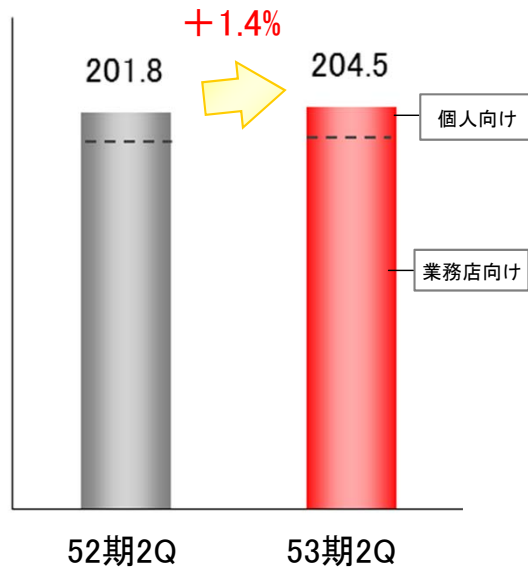


※ 実績値は端数切捨て、パーセンテージは小数点第2位以下を四捨五入

セグメント別 売上高

音楽配信事業

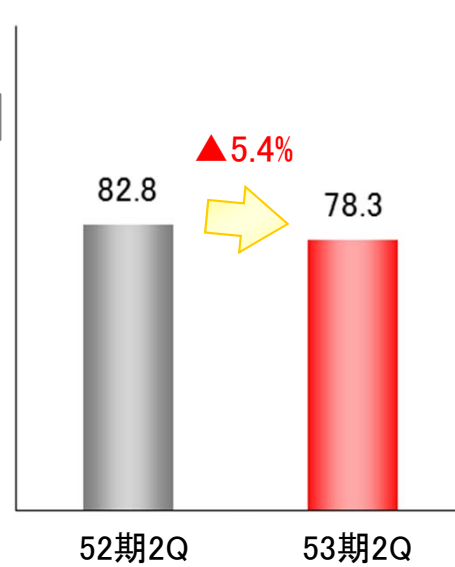
【億円】



業務店ソリューションの
拡販により増収

業務用システム事業

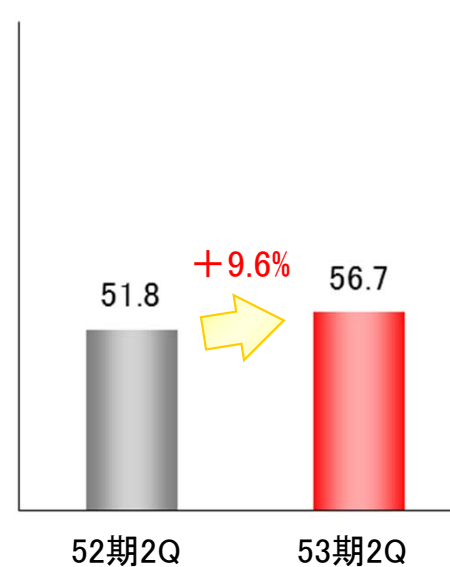
【億円】



病院/ホテル向けの
納品減少による減収

ICT事業

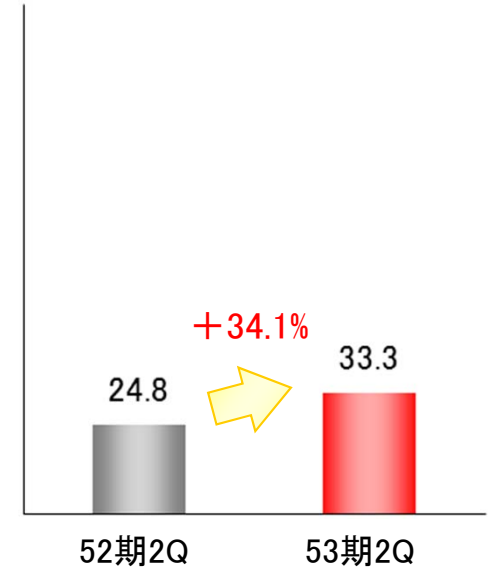
【億円】



サービス提供件数増加により増収

その他

【億円】



集客支援事業や
エネルギー事業の拡大により増収

(参考) 業務店向け/個人向けの内訳は当社管理上の指標となります

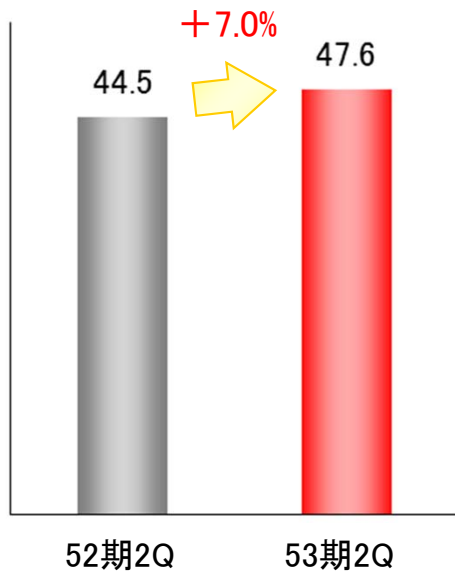
※ 52期セグメント売上高はセグメント間取引消去等により、連結売上高と▲1.8億円の調整を行っております

※ 53期セグメント売上高はセグメント間取引消去等により、連結売上高と▲3.0億円の調整を行っております

セグメント別 営業利益

音楽配信事業

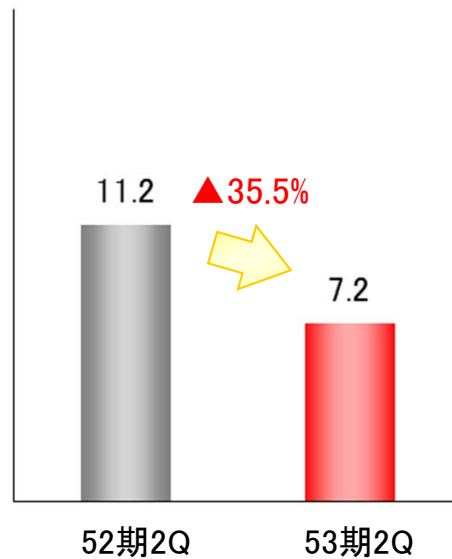
【億円】



業務店ソリューションの
拡販により増益

業務用システム事業

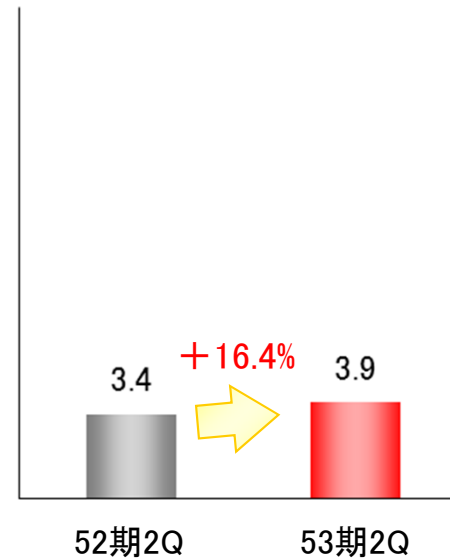
【億円】



納品減少による減収及び
人員拡充・開発費を含む
費用投下により減益

ICT事業

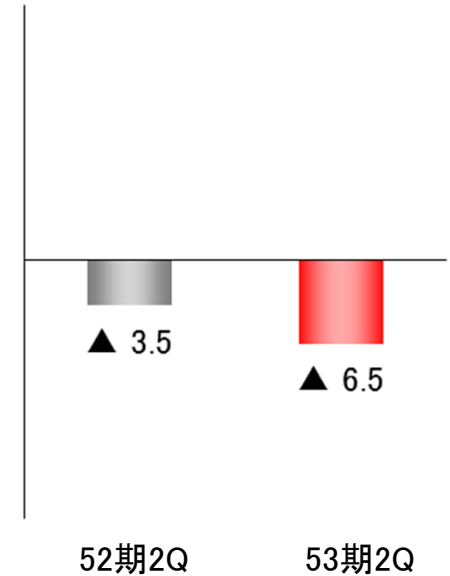
【億円】



サービス提供件数増加により増益

その他

【億円】



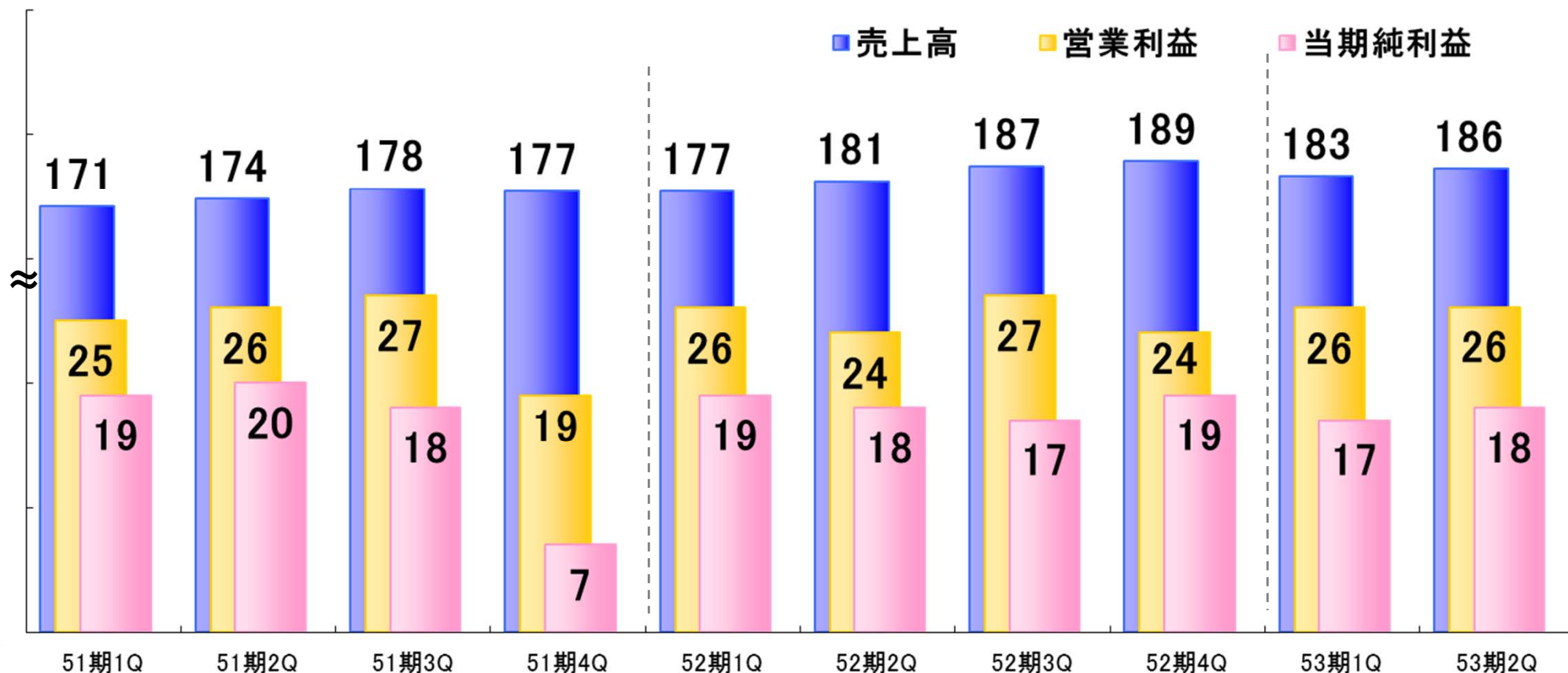
エネルギー事業の立ち上げ
費用投下等により減益

※ 52期セグメント営業利益はセグメント間取引消去等により、連結営業利益と▲5.2億円の調整を行っております

※ 53期セグメント営業利益はセグメント間取引消去等により、連結営業利益と+1.3億円の調整を行っております

業績関連 連結経営成績推移

【億円】



当四半期売上高、営業利益は前年同期比で増収増益
当期純利益は前年同期比でほぼ同水準で安定的に推移

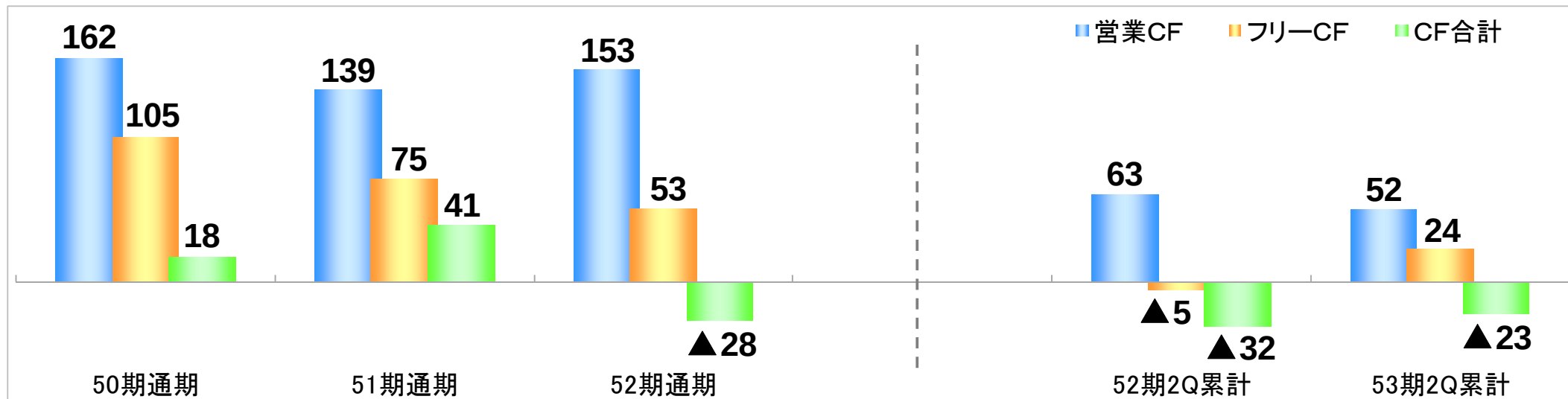
※ 各数値は端数切捨て

|| 業績関連 || 業績予想に対する進捗率

	【億円】	通期予想 (A)	2Q累計実績 (B)	進捗率 (B÷A)
売上高		787.0	370.0	47.0%
営業利益		108.0	53.6	49.7%
経常利益		105.0	52.7	50.2%
当期純利益		61.0	35.7	58.6%

売上高/営業利益/経常利益は概ね予想通りに進捗
当期純利益は予想を上回るペースで推移

【億円】



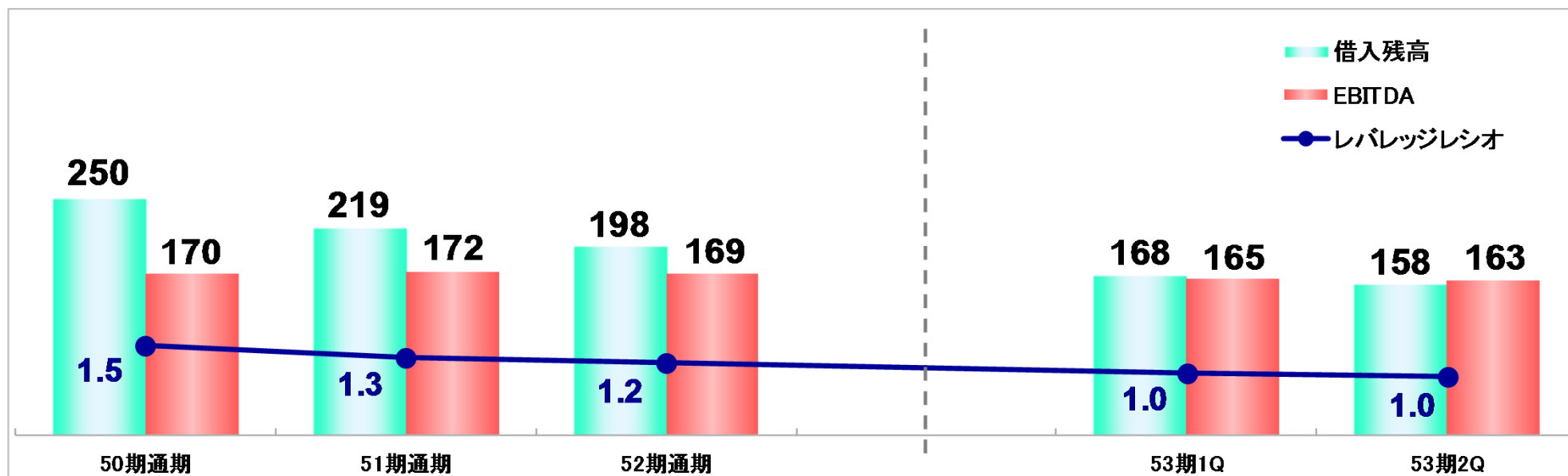
※フリーCF＝営業CF＋投資CF、CF合計＝フリーCF＋財務CF

<営業CF>	162	139	153	63	52
<投資CF>	▲56	▲63	▲99	▲68	▲28
<財務CF>	▲86	▲33	▲82	▲27	▲47

営業CFが前年同期比で減少も、投資CFは大型の投融資案件がなく支出減少となった結果、フリーCFは増加。財務CFは有利子負債圧縮(約40億円)及び配当(約6億円)実施により支出増加も、CF合計は前年同期比で約9億円の支出抑制

|| 財務／経営指標関連 || レバレッジレシオ

【億円、倍】



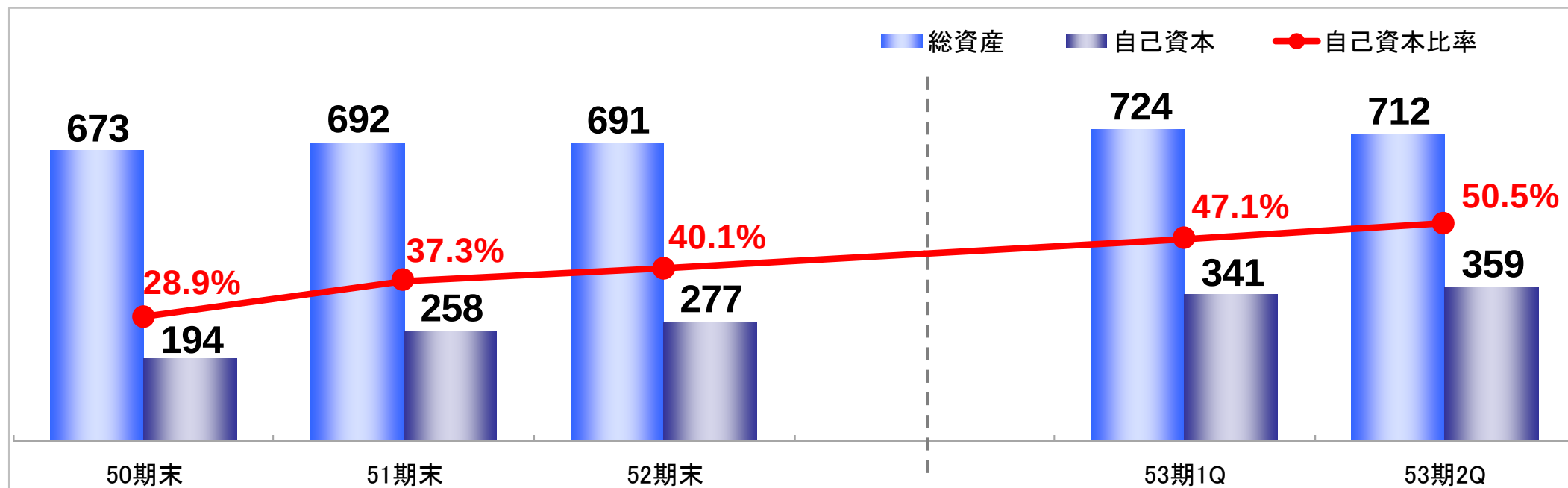
※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

※EBITDAは直近12ヶ月ベースで算出

※レバレッジレシオ = 借入残高 ÷ 直近12ヶ月ベースEBITDA

EBITDAは前四半期比ほぼ横ばい、
継続した有利子負債圧縮により借入残高減少も、レバレッジレシオは同水準で推移

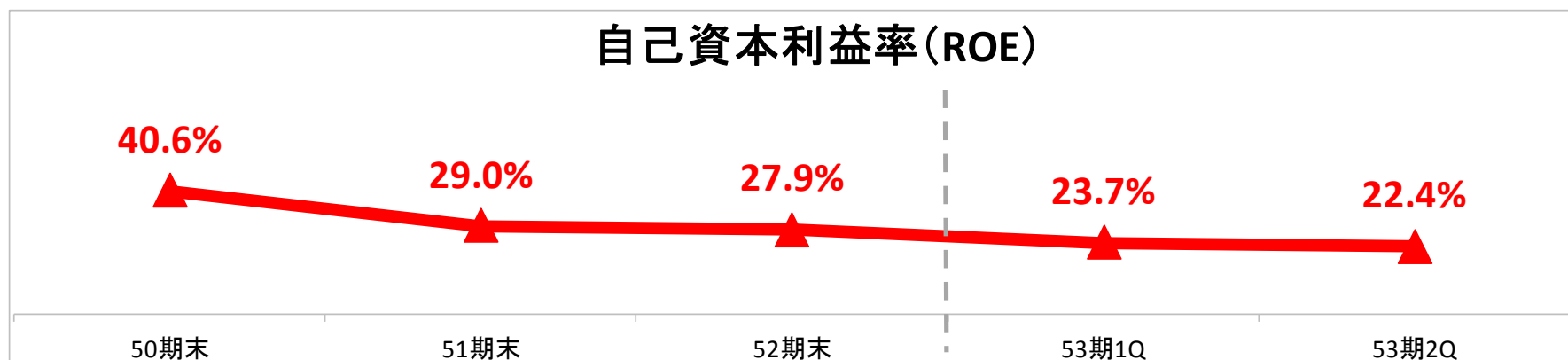
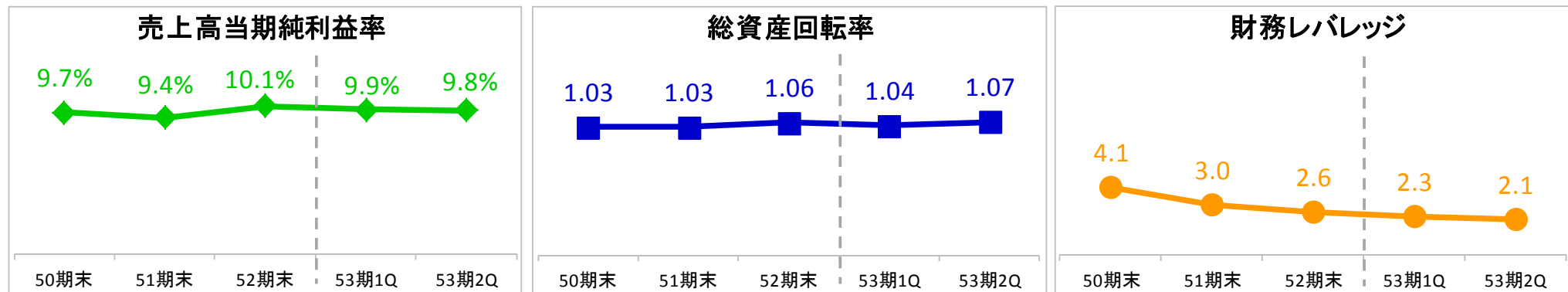
【億円、％】



※自己資本 = 純資産 - 新株予約権

総資産は前四半期比で約12億円減少、
安定的な当期純利益の積み上げにより自己資本比率は50.5%に

○ 53期首において、税効果会計に係る会計方針の変更影響により繰延税金資産及び純資産が約52億円増加しております。
詳細は「平成29年8月期 第2四半期決算短信」6頁をご参照下さい。



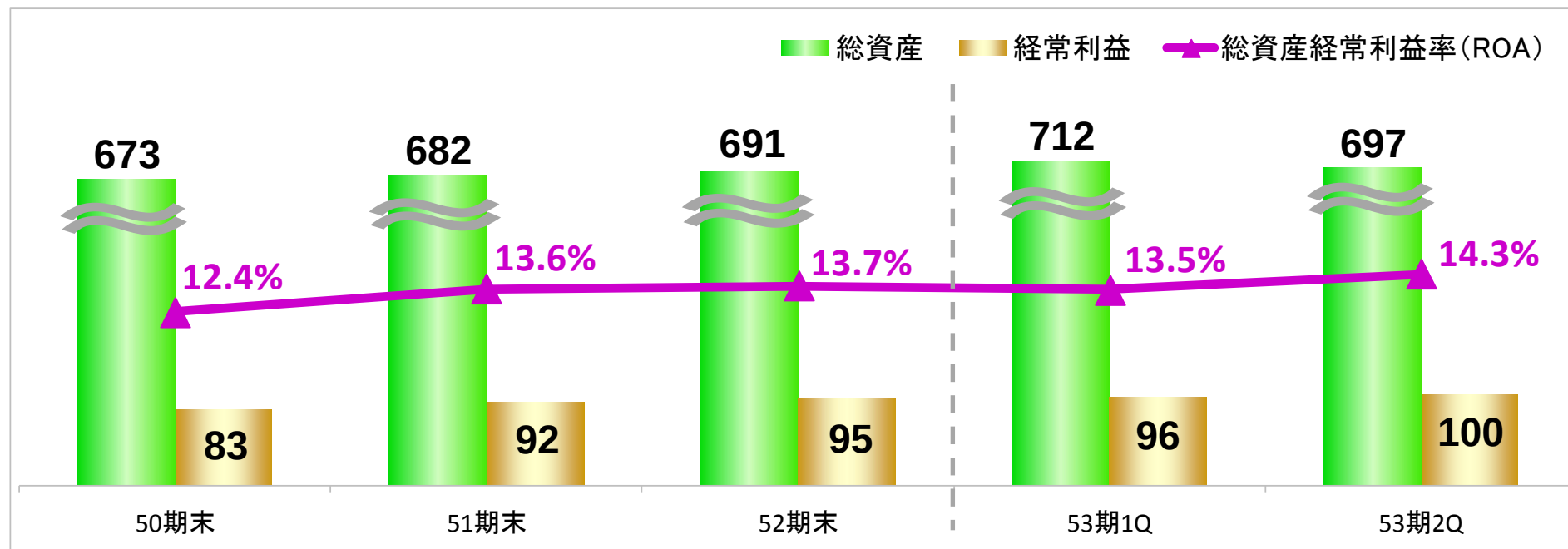
※自己資本利益率(ROE) = 売上高当期純利益率 × 総資産回転率 × 財務レバレッジ

※53期2Qの売上高及び当期純利益は直近12ヶ月ベース、総資産及び自己資本は52期2Qと53期2Qの平均値

売上高当期純利益率および総資産回転率は安定的に推移、
継続した借入金圧縮に伴い財務レバレッジは減少傾向のため、ROEは22.4%に

|| 財務／経営指標関連 || 総資産経常利益率(ROA)

【億円、％】



※総資産経常利益率(ROA) = 経常利益／総資産 × 100

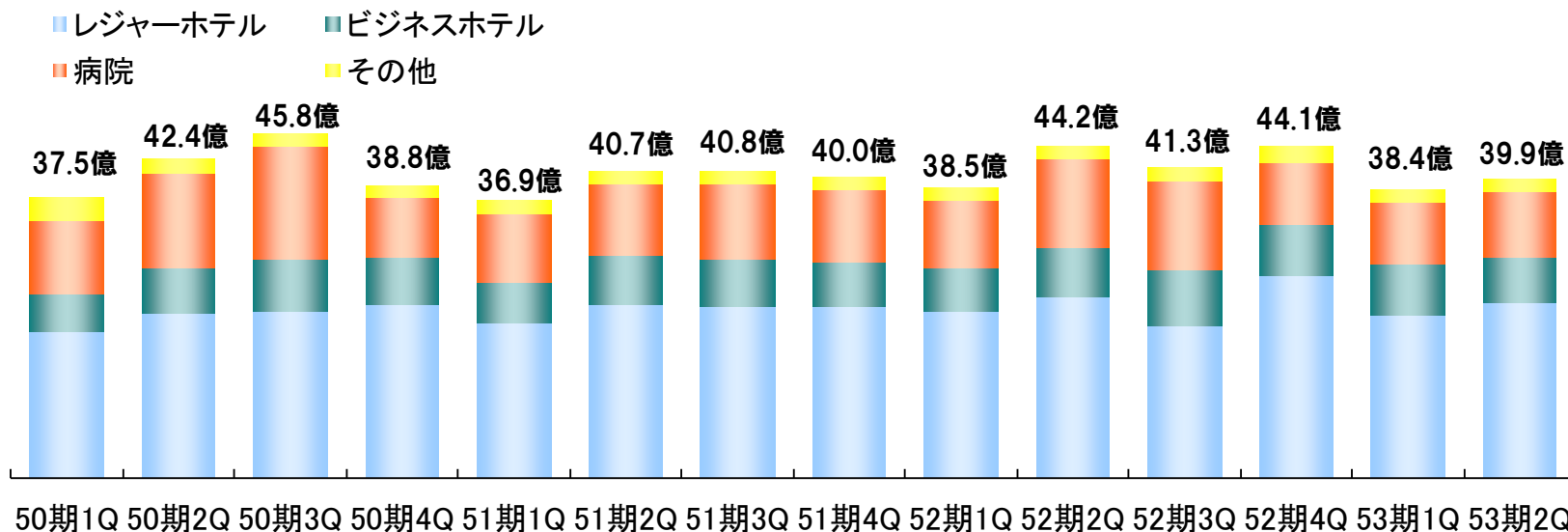
※53期2Qの経常利益は直近12ヶ月ベース

※53期2Qの期中平均総資産は52期2Qと53期2Qの平均値

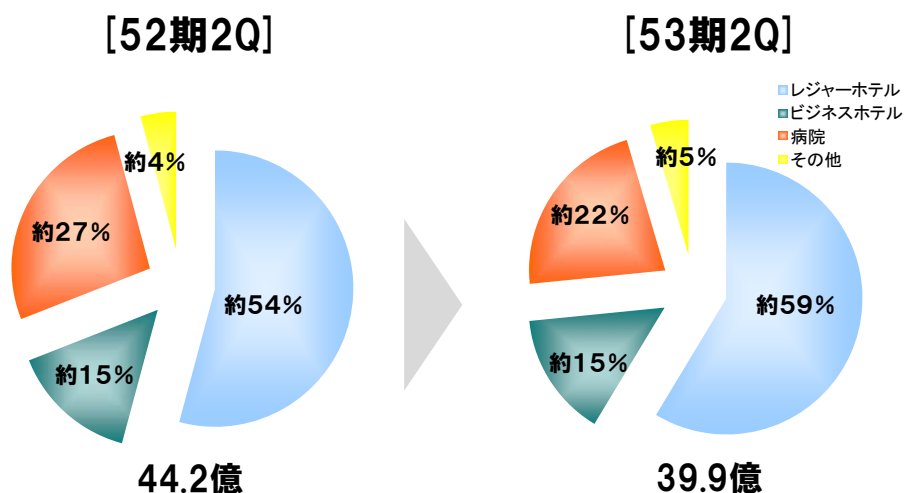
有利子負債圧縮による支払利息減少等の要因により経常利益が増加、
期中平均総資産も減少したため、ROAは14.3%に

事業関連(業務用システム事業) 売上ポートフォリオ

四半期推移



前年同期比

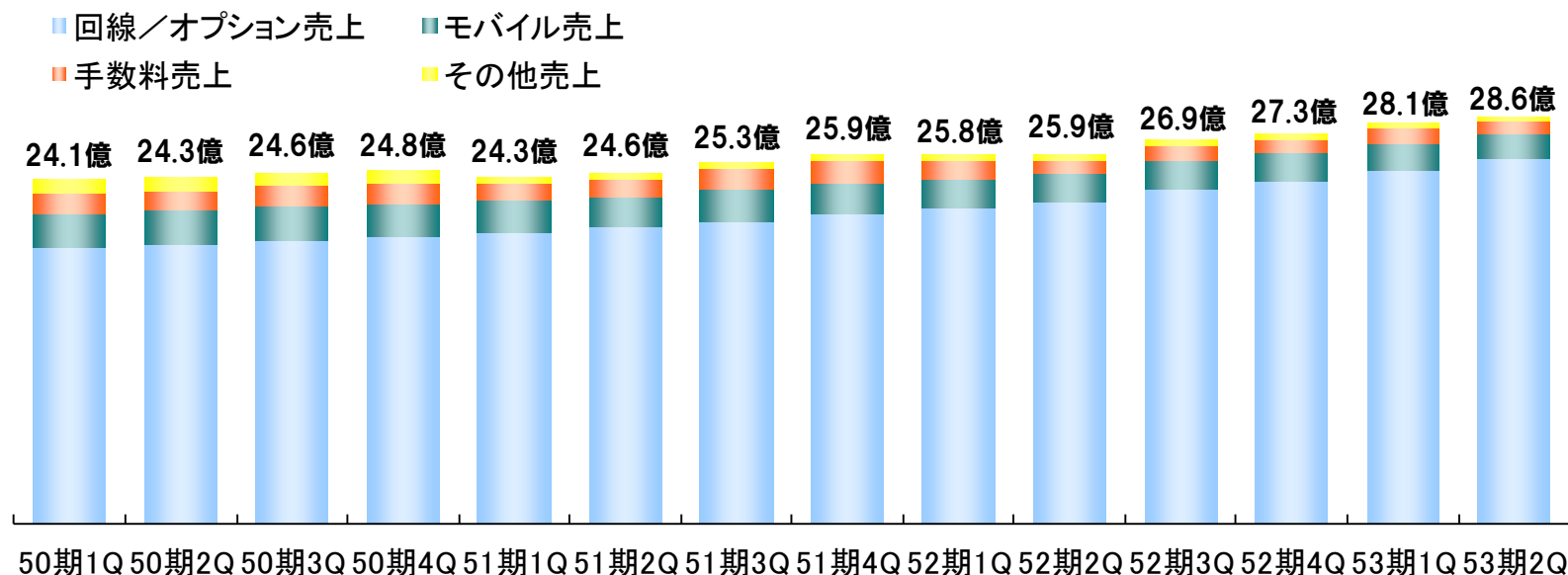


○売上は前四半期比で増加、前年同期比で減少

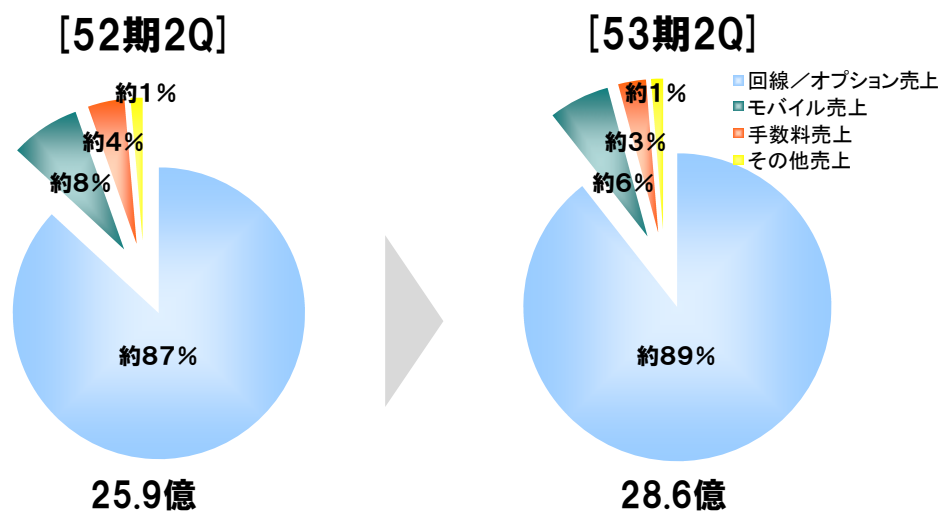
- 52期2Qは400床未満の病院の診療明細書義務化の売上寄与あり。
- クリニックや調剤薬局向けの新しい自動精算機『TEX-30』を4月に発売予定。従来の大型精算機から「省コスト」「省オペレーション」「省スペース」化を実現。

事業関連(ICT事業) 売上ポートフォリオ

四半期推移



前年同期比

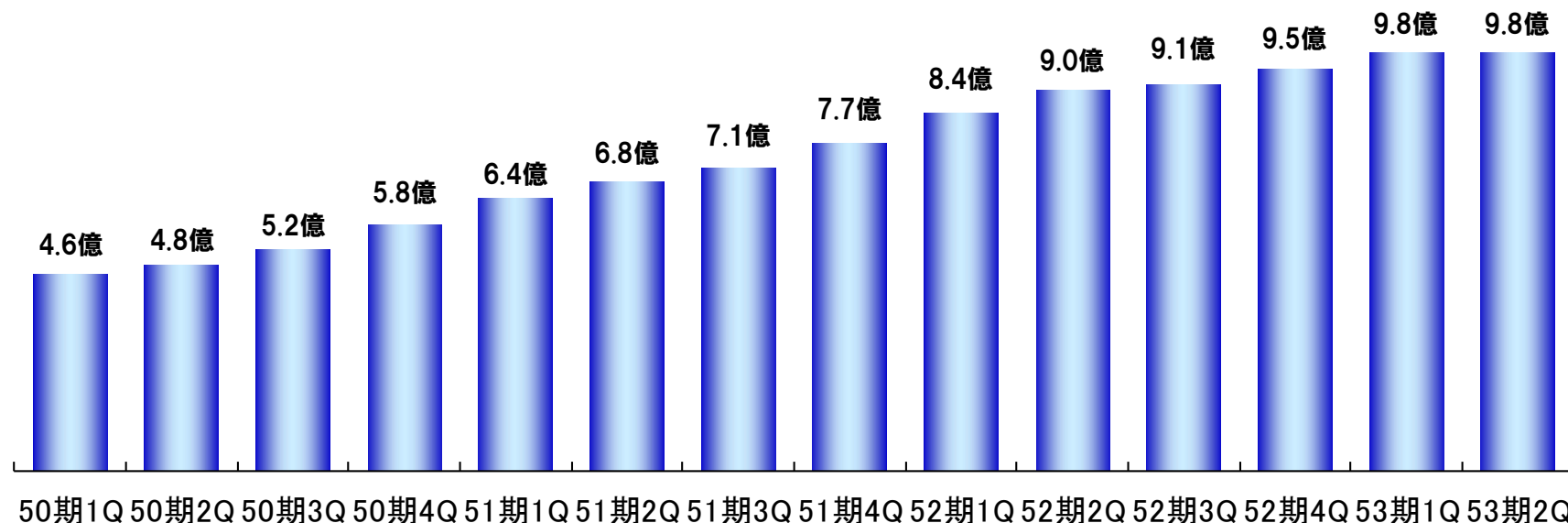


売上は前四半期比/前年同期比で増収

- 主力の回線/オプションサービスが増収基調を維持し事業全体の売上拡大を牽引。
- 次世代の大容量トラフィックに対応した高品質バックボーンを新たに構築したインターネットサービス『プレミアインターネット』販売開始。

|| 事業関連(その他事業) || 集客支援事業 売上推移

■四半期推移



○売上は前四半期比横ばい

- 自社運営グルメサイトのヒトサラや付随サービスの販売は堅調に推移。
(前四半期は年末年始の忘新年会向け特集枠売上が計上されている)
- 2016年11月に当社が運営するCozy Japan/SAVOR JAPANの両インバウンドサイトの情報連携を強化。
レストランや料理人の情報を共有し、観光情報のみならず、訪日時に必要となる「食」に関する、
より奥行のあるコンテンツを提供。
- 2017年2月に東京国際フォーラムにて東京ウェディングコレクションが主催する
「ウェコレ コンセプトウェディングイベント」を開催。1,500組2,700名を超える来場者へ提携式場や
ブライダルサロンを紹介。

Ⅱ 第2四半期TOPICS Ⅱ 音楽配信事業関連

▶▶ オフィス向けBGMサービス「Sound Design for OFFICE」に プレミアムフライデー啓蒙コメント放送を追加

残業時間削減やコミュニケーション活性化の一助になると注目されているオフィス向け音楽放送サービス「Sound Design for OFFICE」へ「プレミアムフライデー」関連のコメント放送を3番組追加。

いずれの番組も、経済産業省が推進するプレミアムフライデーの認知を高め、充実した生活へつながるようなコメントにBGMをミックスして放送。

内1番組のコメント放送では、国民的人気アニメ「サザエさん」に登場するマスオさん役の増岡弘さんを起用し、ほっこりとした優しい呼びかけでプレミアムフライデーをお知らせ。



なお、当社でも2017年2月24日(金)にプレミアムフライデーを実施。その模様は、テレビをはじめとしたさまざまなメディアで取り上げられ、当社の働き方改革をはじめとした取り組みの認知度向上に寄与した。

|| 第2四半期TOPICS || 音楽配信事業関連

▶▶ 「2016 年間 USEN HIT ランキング」発表

USEN音楽放送におけるオンエア実績や、リスナーからのリクエストを基に独自に集計した「2016 年間 USEN HIT ランキング」を発表



2016 年間 USEN HIT J-POPランキング 第1位 宇多田ヒカル 「花束を君に」

NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」の主題歌でも話題となっていたこの曲は、4月に配信がスタートして以来、9月にリリースされた待望のオリジナル・アルバムの大ヒットもあって8ヵ月にもわたりランクインし、全国の街中にあふれた。



2016 年間 USEN HIT 洋楽ランキング 第1位 フィフス・ハーモニー 「ワーク・フロム・ホーム feat. タイ・ダラー・サイン」

人気オーディション番組『Xファクター』US版から誕生したフィフス・ハーモニーの2作目に収録されたこの曲は、ガールズ・グループとしては10年ぶりの全米TOP10入りを果たし、YouTubeが発表した「今年最も人気が高かったミュージック・ビデオ」にも選ばれた。

Ⅱ 第2四半期TOPICS Ⅱ 集客支援事業関連

▶▶ フリーマガジン『bangs TOKYO』を2016年12月に創刊
創刊号のカバーガールには中条あやみさんを起用



スタイリスト探しのWEBサイト「bangs」から誕生したフリーマガジン『bangs TOKYO』を創刊

発行頻度：季刊(3月、6月、9月、12月)

発行部数：52,000部 / ページ数:60P / 判型:A4サイズ / 価格:無料

設置場所：半蔵門線渋谷駅・表参道駅、都営大江戸線新宿駅・六本木駅、JR新橋駅など

読者：美容を中心に、ファッション、音楽にも関心の高い働く女性

Ⅱ 第2四半期TOPICS Ⅱ その他事業関連

▶▶ 歯科医院検索ポータルサイト『デンタル・コンシェルジュ』に 業界初の取り組みとなる「小児歯科専門医」の検索機能を実装



日本小児歯科学会が認定する歯科専門医資格「小児歯科専門医」のリストおよび専門医が在籍する歯科医院の検索機能を2017年1月に実装。

本取り組みにより、全国に10万人以上いる歯科医師の中でも約1%の限られたスペシャリストである「小児歯科専門医」の啓発を行い、専門性の高い歯科医院(歯科医師)による診療の浸透と歯科医療に関する情報取得環境の整備を図っていく。

Ⅱ 第2四半期TOPICS Ⅱ IR関連

▶▶ 株式会社U-NEXT SPC1による当社株式の公開買付に関する意見表明及び応募推奨

(株)U-NEXT SPC1に(以下「公開買付者」)による当社株式の公開買付について当社株主に対して応募を推奨

■公開買付の概要

公開買付期間 平成29年2月14日から平成29年3月28日

決済の開始日 平成29年4月4日

公開買付価格 普通株式1株につき金461円

買付予定株数 134,616,160株(買付予定数の下限 65,934,200株 平成29年3月10日変更)

▶▶ 株式会社U-NEXT SPC1(「公開買付者」)による当社株券に対する公開買付けの結果

今回当社株式107,825,794株の応募があり、買付予定数の下限(65,934,200株)以上となり、本公開買付けが成立したことから、公開買付者より全ての買付けを行う旨の報告を受領。

この結果、平成29年4月4日に本公開買付けの決済が行われた場合には、同日付で、公開買付者は、当社の総株主の議決権に対する議決権所有割合が50%を超え、新たに当社の親会社及び主要株主である筆頭株主となり、公開買付者の議決権の100%を所有する(株)U-NEXTも、公開買付者を通じて当社株式を間接的に所有し、新たに当社の親会社に該当。

Ⅱ 第2四半期TOPICS Ⅱ IR関連

- ▶▶ **平成29年8月の配当予想を修正、ならびに株主優待制度を廃止**
株式会社U-NEXTとの経営統合のための公開買付けで応募株主との経済的効果の差異が生じることがないよう平成29年8月31日を基準日とする配当を行わないことを決議。併せて、株主優待制度の廃止を決議。

- ▶▶ **株式会社U-NEXTとの経営統合に関する基本合意締結**
株式会社U-NEXTとの経営統合に関する基本合意書を締結することを取締役会で決議。
今後平成29年6月を目途に経営統合に係る最終契約を締結し、平成29年12月1日付けの経営統合を目指す。

|| 免責事項 ||

本資料は、信頼できると思われる各種数値に基づいて作成されておりますが、その正確性／完全性を保証するものではありません。

本資料に記載されている、USENの計画／戦略等のうち歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。実際の業績はさまざまな重要な要素によりこれらの業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知置き下さい。

本資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成しております。本資料に記載されるいかなる情報も、投資勧誘を目的としたものではありません。